



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地
TEL. 073-424-5185
FAX. 073-425-6485



ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>

済生会

わかやま

NEWS

第13号

発行日: 2008. 1

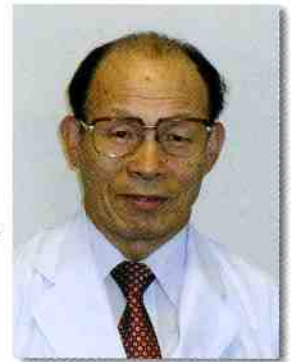
～ 理 念 ～

私達は、地域社会に親しまれ、
信頼され、働きがいと誇りを
持てる病院を目指します。

新年のごあいさつ

— 許すとは、心の中の部屋を一つ空けること —

新年おめでとうございます。済生会病院が現在地に移転して5年目を迎えましたが、今年は、開院60周年にも当たる記念の年となります。しかし、医療環境はまだまだ厳しく、医療費抑制策、医師不足、ナース不足は変わらず、病院にとってはまだ春は遠そうです。そんな中でも一昨年、日本医療評価機構の審査に合格し、三ツ星マーク・レストランならぬ認定マーク病院（本紙上段の白い十字マーク）に名を連ねることができました。また、昨年は医療保険制度始まって以来の大幅な診療報酬減額改定（-3.16%）にもかかわらず、外来患者数、入院患者数とも増加し、経常収支が前年より改善して喜んでいます。患者が増えて喜ぶとは不謹慎だとお叱りを受けそうですが、病人が増えることを喜んでいるわけではありません。「生老病死」の言葉どおり、病気を避けられないのは人間の宿命です。そして、もし不幸にして病気に襲われた時、どの病院を選ぶか迷う筈です。少しでも良い病院で診てもらいたいと思うのは当然、そんな中で当院を選んでくださる人が増えたのですから、当院への信頼が高まったのではないかと喜んでいる次第です。もう一つ嬉しいニュースとして、昨年10月から高性能64列マルチスライスCTが動き始めました。このCTは、従来のCTに比べてはるかに短い時間で、頭のとっぺんから足の先までの色々な疾患の断層写真を撮ることができます。特に、狭心症や心筋梗塞など、今までは侵襲のあるカテーテル検査でなければ検査できなかった疾患を、より早くより安全に診断できるようになりました。脊髄や関節などの整形外科疾患、大動脈や四肢の血管病変などにも極めて有用で、病診連携のお役にも立てると思います。これからも、「地域社会に親しまれ、信頼される病院」をめざして頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。



年頭に当たって「許すとは、心の部屋を一つ空けること」という言葉を紹介します。ご存知の方も多いかも知れませんが、韓流ドラマを見て知った言葉です。我われは、他人に対して色々な不平や不満、時には怒りや偏見をもって生きています。あいつは許せないという人もいるかもしれません。しかし、そんな時ちょっと相手の立場に立って考えてみて下さ

い。人の能力も性格も、良いことばかりでもなければ悪いところばかりでもない筈です。見方を変えれば正負逆転することもあります。相手を受け入れる心の広さが大切です。ドラマの中で、若年性アルツハイマーの彼女が、自分を捨てた母親を許せないでいる大工の恋人に言う言葉です。「許してあげなさい、許すとは心の部屋を一つ空けること。心の部屋を一つ渡せば良いだけです」、「本当の大工は、心の部屋も上手に作れます」と。宮大工のおじいさんに教えられた言葉だそうです。独断と偏見に満ちた私自身に対する戒めの言葉でもあります。もちろん、許すとは、不正を見逃し、悪いことも許すということではありません。でも私たち人間は、To err is human, to forgive divine. (過ちは人の常、許すは神の性) という言葉のとおり、必ず過ちを犯します。その時、過ちを犯したこと、迷惑をかけたことを謝り、反省し、二度と同じ過ちを犯さぬ努力をしなければならないのは当然です。しかし、一度過ちを犯したからと、その人を許せないのはやはり心の部屋が狭すぎます。誤りを指摘し、反省・是正を求めるのは良いですが、許すことの大切さを忘れてはなりません。不親切な職員の対応や言葉遣いなどを許せないと思う患者さんがいらっしゃるかもしれません。職員同士でも我慢できぬと思うことがあるかもしれません。そんな時、この言葉を思い出してみてください。憎しみからは何も生まれません。許すことで前進する道が見えてくるかもしれませんから。

平成20年1月

院長 林 靖二

回復期リハビリテーション病棟

看護師長 田中 祐子

回復期リハビリテーション病棟は、おもに脳血管障害や大腿骨頸部骨折などの患者様を対象に集中的にリハビリテーションを行う病棟です。

身体機能の向上とともに寝たきりを防止し、家庭生活・社会生活への復帰を目指し、リハビリテーション専門医のもとに、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー、介護職員がチーム一丸となって、患者様、家族とともに自立に向けて治療・看護にあたります。

病棟のモットーは「患者様が持っている機能を最大限に引き出す」です。朝、起床したら更衣し、就寝前には寝衣に着替えるなど、自宅での生活にできるだけ近い状態で過ごして頂けるよう配慮しています。入院・転棟時より定期的にカンファレンスを行い患者様・家族を含めチームで関わっています。年に2回、和歌山城への春のお花見、秋の紅葉レクを実施しています。

また、当院は内科、外科、循環器内科、脳神経外科などの急性期病棟が充実していて、リハビリテーションを受けながら疾病のフォローが出来る、急変時にも急性期治療の対応が即座に出来るという特色をもっています。

患者様が、安心して在宅・社会復帰に向けて、リハビリテーションが出来る病棟です。

病院理念にある「私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、働きがいと誇りを持てる病院をめざします」を念頭に地域との連携をはかり、患者様が元気に地域に復帰していただけるよう関わっています。



【地域医療連携室利用紹介患者数】

平成19年8月…186件 9月…205件 10月…239件 11月…172件

のご利用頂きありがとうございました。

腎センターのご紹介

腎センター医長 半羽 慶行

透析患者数は現在も増加の一途をたどっており、国内における透析患者数は約26万人に達しております。しかし透析患者さんの合併症を集学的に管理できるセンター施設は和歌山市内では医大、日赤、済生会しかありません。その中でも当院は非常に地域医療施設との連携を重視し、当センター開設以来多くの透析患者さんの合併症を受け入れ、和歌山の透析患者さんにとって、なくてはならない施設であると考えております。

現在当センターでは常勤医師1名、専属看護師8名、臨床工学技師2名で入院外来あわせて約60名の透析患者さんの管理に当たっており、また閉塞性動脈硬化症に対するLDL吸着療法など人工透析以外の血液浄化療法にも積極的に取り組んでおります。

平成19年4月より2名あった常勤医師が1名体制となり、現在入院・外来透析患者さんおよび保存期腎不全入院・外来患者さんを医師1名で診療しているため、御紹介いただいた先生や患者さんには色々と御迷惑をおかけ致しておりますが、少しでも地域医療に貢献できるよう日夜努力してまいりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。



地域医療連携室から

地域医療連携室 主任 上野山 勝代

新年あけましておめでとうございます。日頃は地域医療連携室運営にご協力頂きありがとうございます。

さて当院では本年より「糖尿病地域連携クリニカルパス」の導入を準備しております。

つきましては、糖尿病の病診連携を円滑に進める為、「糖尿病病診連携登録医」制度を創設しました。ご興味のある先生方はご連絡下さい。

尚、詳細につきましては、地域医療連携室までお気軽にお尋ね下さい。

吉田医院 吉田 哲人 先生



私は昭和52年に兵庫医大を卒業し、母校の胸部外科（心臓、血管、呼吸器）に入局後、一般外科の経験をしたく、名古屋大学第二外科に入局、名古屋鉄道病院（現JR東海病院）、名古屋共立病院の外科に在籍後、平成3年9月より、手平で開業していた父を引き継ぎ、現在に至っております。

開業するまで和歌山には縁がなく紹介先に困ってありましたところ、新生町に済生会病院があり紹介させて頂くことになりました。病院の先生方には快く引き受けて頂き適切な治療で、看護師さんも親切で、患者さんや家族も満足してくれました。

現在は病院が和歌山城の近くに移転され、手平の患者さんには少し遠くなり、不便を感じております。また、以前に比べて入院患者のベッド数が減少し、スタッフも変わり、やや紹介しづらくなった感じがしますが、一方冠動脈CTの検査も可能となり期待しています。

和歌山東臨床研究会や東臨会ゴルフを通じて勤務医の先生と開業医の関係が密になれば良いと思っています。

私のモットーは「わが子わが親にする治療を患者さんにも」で、毎日診療しておりますが、最近、誤った医療政策や、ややもすると医療サイドの点数を上げるための検査などが目につきます。何とか次世代では、医療環境が改善することを願いつつ、ホームドクターとして仕事を継続する覚悟であります。

今後とも地域医療連携室にお世話になると思いますがよろしくお願ひ致します。

済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成20年1月1日より)

	内科・糖尿病代謝内科・消化器科			循環器科	放射線科	脳神経外科		外科・心臓血管外科		整形外科		リハビリテーション科	耳鼻咽喉科	腎センター	眼科	皮膚科
	2診	3診	4診			7診	8診	8診	9診	13診	14診					
月	午前 山原邦浩	文野真樹	梅田恭史	木村桂三	—	仲寛	乾芳郎	—	重里政信	延與良夫	北野岳史	担当医	医大 応援医師	半羽慶行	大川記羊美	上中智香子
火	午前 —	—	江川公浩	大鹿裕之	—	中川真里	—	高垣有作	平井慶充	船岡信彦	下江隆司	担当医	—	半羽慶行	大川記羊美	—
水	午前 山原邦浩	川口雅功	荒古道子	尾鼻正弘	野村尚三	乾芳郎	—	—	重里政信	新患診		担当医	医大 応援医師	半羽慶行	大川記羊美	—
木	午前 井関良夫	梅田恭史	江川公浩	木村桂三	—	仲寛	林靖二	—	駒井宏好	松崎文作	北野岳史	担当医	—	半羽慶行	大川記羊美	山本有紀
金	午前 川口雅功	文野真樹	荒古道子	大鹿裕之	—	林靖二	—	駒井宏好	中村恭子	船岡信彦	延與良夫	担当医	—	半羽慶行	宮崎賢一	—

※内科 井関 (一般) 川口 (肝/消化器)
 江川 (糖尿病・代謝) 文野 (肝/消化器)
 荒古 (糖尿病・代謝) 山原 (肝/消化器)
 梅田 (糖尿病・代謝)

【受付時間】 午前 (全科) 8時45分～11時00分
 (但し、予約患者さまは除く)
 *土曜日は休診ですのでご注意ください。

肝臓病教室

日 程 : 奇数月の第3土曜日 10:30～
 場 所 : 済生会和歌山病院 7階 多目的ホール
 開催日など : 都合により、変更する場合があります

糖尿病教室

日 程 : 毎月第3水曜日
 場 所 : 済生会和歌山病院 7階 多目的ホール
 時 間 : 午後2時～午後3時30分 (要予約)



診療案内

診察日 : 月～金曜日
 受付時間 : 午前8時45分～午前11時 (但し、予約患者様はこの限りにあらず)
 休診日 : 日・祝祭日 (年末年始)
 面会時間 : 月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187

研修会

第30回 和歌山東臨床研究会

- 日時 2008年1月19日(土) 15:00～17:00
- 場所 ダイワロイネットホテル和歌山
- 座長 済生会和歌山病院 外科部長 重里 政信

特別講演

『リンパ浮腫に対する診断と治療』

国保すさみ病院 副院長 高垣 有作 先生
 (岩田 由明 先生)

一般演題

『脳梗塞治療と連携パス』

済生会和歌山病院 脳神経外科部長 仲 寛

参加ご希望の方は地域医療連携室までご連絡下さい